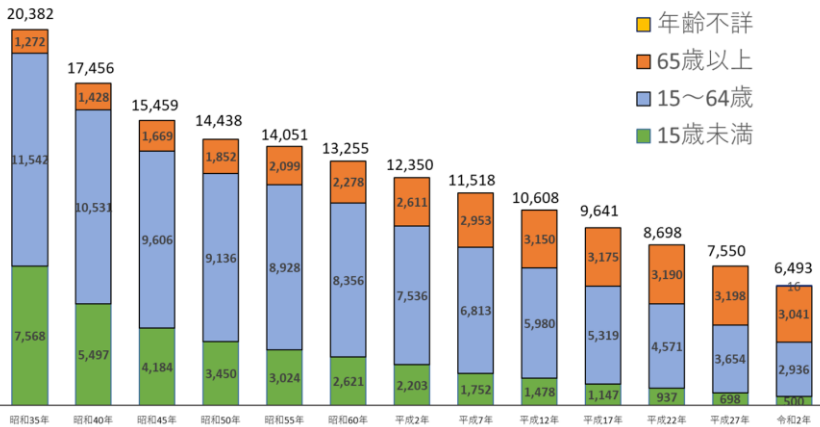


令和 7 年度温海庁舎の取組方針と地域まちづくり未来事業等

現状と問題

- ▶ 令和 6 年 3 月末現在の人口 6,100 人。高齢化率 50% で上昇傾向が継続。
 - ▶ 人口は年約 200 人ずつ減少。出生数は年 20 人前後にとどまる。人口減少の主要因は自然減だが、社会減（地域外への転出）も見逃せない。
 - ▶ 人口減少に伴い商店等が閉店。金融機関や医療機関も閉鎖。空き家問題が顕在化。
 - ▶ 生活サービス機能の低下等を背景とする社会減と、高齢化に伴う自然減によって、担い手不足が加速し、地域のコミュニティ活動や産業が停滞する要因に。
 - ▶ **地域内での自力による人口維持は困難。地域活力の維持には外からの資源（人材、知恵、お金など）の導入が必要。**
- ➡ **交流人口・関係人口の創出・拡大が活路。新道の駅も起爆剤に**

＜温海地域年齢（3 区分別）人口＞ 国勢調査より



ここ30年ほどは、5年間で約1,000人、年約200人のペースで減少

＜27自治会の人口規模＞

- ～50人 ④ 安土、小菅野代、鍋倉、峠ノ山
- ～100人 ④ 一霞、釜谷坂、関川、菅野代
- ～150人 ⑤ 暮坪、鈴、模代、木野俣、温海川
- ～200人 ② 浜中、戸沢
- ～300人 ⑥ 湯之里、五十川、宮名、小名部、越沢、小国
- ～400人 ③ 早田、小岩川、山五十川
- ～500人 ①
- ～1,000人 ② 湯温海、温海
- 1,001人～ ① 鼠ヶ関

取組方針（課題と方向性）

【温海地域の重点的課題と地域振興の方向性】

- ▶ 日沿道を地域の活力につなげる
～地域資源を生かした産業振興～
- ▶ 住み続けられる地域環境の形成
～地理的条件を踏まえた人口減少対策～
- ▶ 人の力を生かした地域活力の向上
～多様な人材を生かした地域づくり～

温海地域振興計画

▶ 基本方針 1
あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興

▶ 基本方針 2
自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大

▶ 基本方針 3
地域特性を生かした農林水産業の振興

▶ 基本方針 4
海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

具体的な取組み

地域まちづくり未来事業計画

令和 7 年度地域まちづくり未来事業

★重点事業

基本方針 1：あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興

- ・道の駅あつみ商品開発プラットフォーム事業＜新規＞★
新道の駅での地元産食材を活用した商品造成に向けた試作・販売・評価の取組を支援
- ・温海地域水産物販売実証実験事業★
新道の駅での地元産水産物を用いた事業展開に向けた実証実験を支援

基本方針 2：自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大

- ・温海地域支援ネットワーク推進事業★
地域内の若者の交流の場を設けてネットワークを形成。地域内外の若者の協働によるオンライン関係案内所運営やイベント実施を支援

・温海地域家族まるごと移住体験事業（保育園留学）★

都市圏の親子を対象に、温海地域での1～2週間の滞在で保育や暮らし体験の場を提供

・温海地域体験旅行推進事業

・温海地域教育環境充実事業★

地域おこし協力隊を配置し、あつみ地域未来塾や「生きる力を育む教育」等を推進

基本方針 3：地域特性を生かした農林水産業の振興 ➡新道の駅にも関連

- ・温海地域在来作物振興事業（焼畑あつみかぶ、越沢三角そば）
- ・温海地域小ロット農産物生産振興事業
- ・温海地域伝統的工芸品振興事業（羽越しな布）

基本方針 4：海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

- ・温海地域生きる力を育む教育推進事業
- ・温海地域養蚕環境整備事業
- ・温海地域支え合い訪問活動事業＜新規＞

老人クラブ等が未組織の集落を対象に、高齢者の集いの場としてお茶のみサロンを開催。併せてフレイル予防を実施、地域外研修活動等の外出機会を創出

令和 7 年度その他の重点的な取組

あつみ温泉振興関連

- ・温海公園整備事業➡スロープ・起伏整備（下の公園）、ステージ解体（バラ園）等【8款】

道の駅整備関連

- ・道の駅あつみ移転整備事業➡しゃりん跡地活用検討会議の設置・運営等【8款】

生活環境維持充実関連

- ・温海地域公共交通運営事業➡乗合いタクシーによる移動手段の確保【2款】
- ・空き家対策事業➡旧あらたまの応急対策実施、撤去手法の本格的検討【4款】
- ・広域コミュニティの検討➡関係者からの意見聴取、事例研究、温海地域にふさわしい枠組の検討【R7は既決需用費等で対応】